


生薬解説 393 みー1

音順	生薬名	中医の性味・帰経	中医の用量
みー1		甘・微寒 肝	3～9g、煎服。
<small>中医学学生薬解説、参考・使用上の注意 および中医学以外の生薬解説・生薬学解説</small>			
中医生薬解説			
<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  <p style="text-align: center;">ワタフジウツギの花蕾</p> </div> <div style="flex: 2;"> <p>清肝退翳 肝火上炎による目の充血、腫脹、疼痛や流涙、羞明、目やに、角膜混濁（翳障）などの症候に、石決明・木賊・菊花・白蒺藜などと用いる「蜜蒙花散」。</p> <p>養血明目 肝血虚による視力減退に、枸杞子・兔絲子・桑椹などと用いる。</p> </div> </div>			
<p>参考 密蒙花・青箱子は明目退翳の効能を持ち、目赤翳障に用いられる。 蜜蒙花は養肝血にも働き、清中有補であるのに対し、青箱子は苦寒沈降し、瀉肝火のみに働く。</p>			